



# 中高生とともに差別と闘う

## 「受験がゴールではない」

吉成タダシ (うずしおランチ代表)



理系嫌いをなくすには

その一方で、理数系離れ、数学嫌い、と言われて久しいなか、「好きになれなくてもいい。せめて、数学を嫌いにならないでほしい」そんな思いで授業をしてきました。

\*

■私はずっと数学が苦手でした。苦手で楽しくないので、勉強をする気も起きませんでした。それでさらに嫌になって嫌いになりました。テストでいい点はとれないし、どんな点も落ちていくばかりで、好きになりようがありませんでした。

でも三年生になって、確かに内容は難しくなりましたが、分からないところは授業中に友達に聞いたりすることができて、とても気が楽になって、教えてもらえるので理解できることも多くなりました。今までの先生を否定するわけではないのですが、数学が苦手な私にとって、個人の時間があまりなく、クラス全体で授業を進めていくのは、全く頭に入りませんでした。でも先生は、個人の時間もとってくれて、分からないところは一つ一つ丁寧に教えてくれたので、すごく嬉しかったです。まだ得意ではないけど、数学が好きになりました。

\*

■今日の授業で思ったことが二つあります。

一つめは、人権学習に終わりはないということです。人権は人間の持つ永久の権利だから、人権学習は大人になってもするべきだということを感じました。

二つめは、中学校卒業や高校入学がゴールというわけではないということです。高校に入ったから勉強をしたり、今度は大学や就職活動が始まったりするから、まだまだこれからだという気持ちで頑張りたいと思いました。

また、今までの授業を受けて感じたことが二つあります。

一つめは、数学の授業はただ数学の勉強をするだけではないということです。数学の授業を通して、友達とよりいっそう仲良くなったり、人権について考えることができました。二つめは、数学の面白さです。私は今まで数学が苦手でした。でも、友達との話し合いや先生の分かりやすい授業を受けていくうちに、数学の苦手だったところを克服することができました。これからは数学の勉強を楽しみながらしたり、人権学習をし続けたいと思っています。

\*

私にとっては、ウルツとするほどありがたい言葉です。

数学が苦手でも、嫌いにならないためにはどうすればいいのか、人並みに悩み考えてきたつもりですが、私の場合、その根本は、全体学習、「みんなで語り合う人権学習」でした。

子どもたちが本来持つ、つながろうとする力、伝えようとする力、表現したいと思う力。それを目の当たりにすることで、「子どもたちはできる」と本気で思えたからこそ、多くのことを、子どもたちを信じ、任せるようになっていきました。信じ、任せれば、子どもたちはその期待に

応えようと頑張れる。それは人権学習だけでなく、数学の授業でも同じだということです。

受験がゴールではない

また、こんな話もしました。

中学校を卒業すれば人権学習が終わるのではない。命ある限り人権学習は終わらない。「今・ここ」をどう生きるか。卒業してもがんばる。合格してもがんばる。がんばることが当たり前になる。一生勉強だ、と。卒業式で、卒業生代表として答辞を読むことになっていた子は、こんなふうに書いてきてくれました。

\*

■数学と人権のつながりというものを初めて学ぶことができました。卒業式では全員の言葉を言うことができないうので、全員の思いを込めて卒業式に臨みたいと思います。

「自分と未来は変えられる」

本当にそうだなと思いました。私は受験が終わったら、新たに韓国語の勉強をしたいと思っています。自分の夢に向かって勉強し続けます！

授業では、教科書の「やってみよう」みたいなところをやらなくても良いと思っていただけ、入試の過去問を見ると、その部分に関連した問題が出ていて驚きました。ちゃんとその部分も丁寧に指導してくださいましたので、解くことができました。友達と相談したりして、共に学び合っていくことがとても重要だと感じました。今までできてきた授業が、先生が一方的にしゃべって、問題を解いて、みたいな感じだったので、

とても新鮮だったし、学ぶ意欲が生まれました。数学は苦手だったけど、この一年でだいぶ分かるようになってきたし、解ける問題も多くなってきた。勉強することが楽しいです。

\*

■今回の授業で最も心に刺さったことは、どこに入るか、どこを出るかではなく、今自分が納得のいくことをできているか、ということでした。高校の進路で、一つでもレベルが高い高校に行くか、本当に迷っていたけど、この言葉を聞いて、自分の選択に自信を持てたし、これからの人生を大事にしようという心から思えました。これからは人と比べて生きていくのではなく、自分の納得のいくように自分を磨いていけるように、強い意志を持って生きていこうと思えました。

これから、これまでの人権学習で学んだことをもっと深めて発展させ、人の心を思いやれる人になれるように頑張っていきたいと思います。

\*

勉強が楽しい人間なんていない、と言う人がいます。が、価値観が変われば、案外そうでもないのかもしれない。子どもたちのまっすぐな思いを知って、そう感じます。

「教えるとはともに希望を語ること」

学ぶとは心に誠実を刻むこと」  
ルイ・アラゴン（フランスの小説家、詩人）の言葉を思い浮かべます。教師の力なんて、たかがしれています。けど、子どもたち同士で学び合う可能性は無限大です。そんな思いを、私も学ばせてもらいました。